

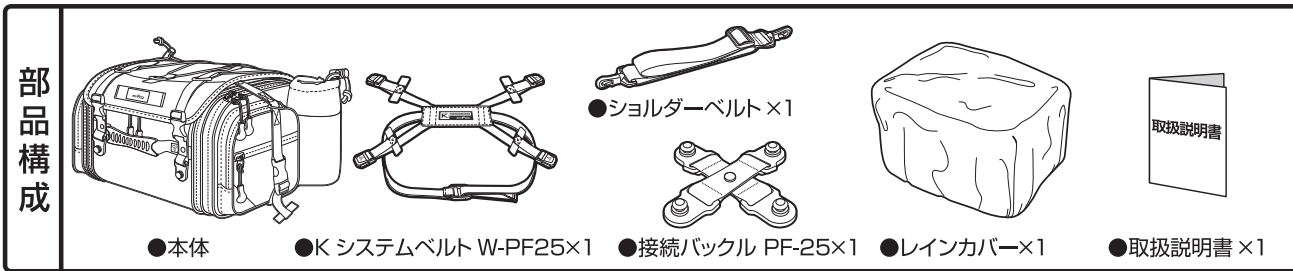


CAMPING SEATBAG S

キャンピングシートバッグ S

〈取扱説明書〉

- この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
- この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。



部品番号	名称	セット数
MP-157	レインカバー	1個
MP-313	バンジーコード(ブラック)	1本
MP-360	接続バックル PF25	1個
MP-361	Kシステムベルト W-PF25	1本
MP-364	ショルダーベルト	1本
●オプション MP-366	固定ベルト PF25(4本)	4本
●オプション MF-4729	プロテクターシート シートバッグセット	1個
●オプション MF-4748	プレートフック3	1セット

補修パーツ(消耗品パーツ)のご案内
お求めは近くの「モトフィズ」取扱店にてご注文ください。

バイクへの取り付け方法

シートへの取り付け 《KシステムベルトW-PF25を使用》

- シートを取り外し、図のようにKシステムベルトをシート裏側でロゴが見えるように位置を決め、シートの突起を避けながらグレーのベルトにシートをくぐらせます。
- シート表側でグレーのベルトのバックルをしっかりと引いてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトが引きやすい位置に調整してください。
- シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。(この時に固定用のバックルのついた4本のベルトをシートの外へ上向きになるように出してください。)

- △注意 ベルトが捻じれないように整えてください。
- △注意 シート固定ベルトがしっかり固定されていないとベルトがずれて安定しません。
- △警告 ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようにご注意ください。

- 本体のバックルにKシステムベルトのバックルを嵌め込み固定します。不安定にならないように先に前の左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後ろの左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。
- 引いて締める
- バックルの着脱方法
- バックルの嵌め込み
バッグ側の凸部にベルト側バックルの凹みに「カチン」と鳴るまで嵌め込みます。
 - バックルの解除
バックル両側のボタンを同時に押す事で接続が解除されます。
- 接続バックルの使用方法
- バッグを取り外した後のKシステムベルト・固定ベルトは接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。

車体への取り付け《固定ベルト PF25(別売り)を使用》

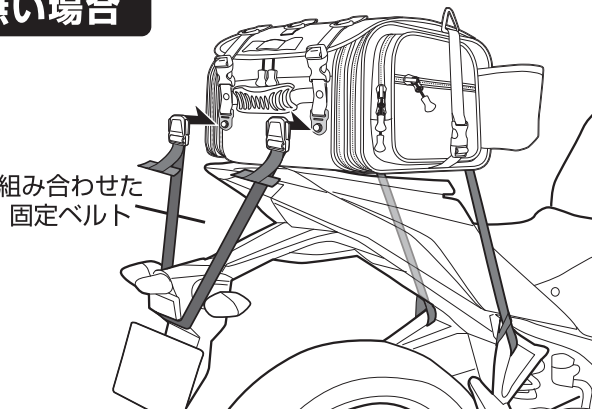
※シートへの取り付けが難しい場合や車体にベルトで取り付けたい場合に使用します。

- 固定ベルト(別売り)のループを使用して下図を参考にバイクに取付けます。
 - 固定ベルトを車体に繋げたらバックルを本体のバックルに嵌め込み固定します。前後左右が均等になるようにベルトの長さを締めて調整します。
- MP-366 固定ベルト PF25(4本) (オプションパーツ: 別売り)
- 固定ベルトのループ使用例
- 荷掛けフック
 - 車両フレーム
 - ベルトタイプ 荷かけフック
- 引いて締める
- △注意 「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。
- 余ったベルトの収納方法
- ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストッパーでまどめます。
- 下端から丸めて行きます。
- 面ファスナーで固定します。
- △注意 ホイールやチェーン等の可動部分に接触しないよう、余ったベルトはTベルトストッパーでまどめてください。

車両後方にフック等が無い場合



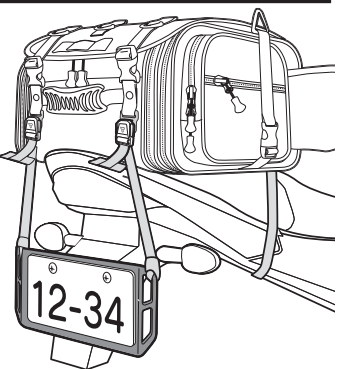
組み合わせた固定ベルトをオートバイのリアフェンダー部などに取り回してください。



△取り付けの注意

参考 プレートフックシリーズ(別売り)を使用した場合

バイク後部に荷掛けフックが無い車両でもプレートフックを使用する事で、固定ベルトをより簡単に確実に装着することが出来ます。モトフィズプレートフックは様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。



バッグの使用方法

容量の拡張方法

- サイドベルトを①緩めてから②バックルを外し、③拡張ファスナーを開き④引き出します。
 - 荷物を入れ、バックルを接続し拡張部分が垂れ下がらないようにサイドベルトを調整します。
- サイドベルトを調整
- △注意 余ったベルトはマフラー等に接触させないように処理してください。

ショルダーベルトの装着方法

- バッグのDリングにショルダーベルトを取り付け固定します。
- オートバイ装着時はショルダーベルトの長さを最短にしてバッグのフラップ内側に収めます。
- ベルトを最短にしてフラップ内に収める
- △注意 オートバイ装着時は必ずショルダーベルトをフラップ内側に収めるか外してください。

ワイヤーロック収納ポケットの使用方法

- サイドポケット内のDリングを利用して市販のワイヤーロックを装着し収納する事が出来ます。装着後、駐輪時にワイヤーロックをバイクのフレーム等に通しバッグのロック機能付きスライダーに鍵を通す事で簡易的な盗難防止になります。
- ロック機能付きスライダー
- Dリング
- 車両のフレーム等に通す

バンジーコードの使用方法

- 降車時のグローブやジャケットの仮置きとして、バッグ天面のバンジーコードを使用できます。
- コードが劣化し伸びた際は、モトフィズ補修パーツ(別売り)で交換する事ができます。
- MP-313 バンジーコード(ブラック)
 - MP-314 バンジーコード(グレー)
 - MP-315 バンジーコード(ブルー)
 - MP-316 バンジーコード(レッド)
- △注意 バイク走行時はバンジーコードは使用しないでください。

△使用上の注意

- 法定速度内でご使用ください。
- 最大積載量(7.0 kg)を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるので控えください。
- 走行による振動等で固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- 角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はバッキング等で包んで収納してください。
- ドリンクホルダー使用時は必ずコードストッパーを絞ってください。
- 携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。
- 林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。
- バッグは生地や縫製方法など通常使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをするなど破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。
- 寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予めご了承ください。
- バッグの面ファスナーが開いたままになっていると他の衣類や素材に引っかかりやダメージを与えることがあります。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
- 取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤等を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。
- 定期的なお手入れは、PITGEAR モトフィズバッグクリーナーとモトフィズバッグコートのご使用をお勧めします。

△注意

- ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお止めください。

バッグのメンテナンスは PITGEAR で!

PG-288 モトフィズバッグクリーナー

■雨染み・カビ汚れ・排ガス汚れを浮かして落とす

素材に優しい天然由来の界面活性剤が汚れを包み込み浮かび上げられ、簡単に除去します。



PG-287 モトフィズバッグコート

■雨・泥・排気ガスからバッグを守る

特殊フッ素ポリマーが繊維一本一本に浸透し水・汚れ・菌の増殖からバッグを守ります。



タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西3-5-7 〒270-0128 TEL: 04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7, OTAKANOMORINISHI, NAGAREYAMA-SHI, CHIBA 270-0128, JAPAN TEL: +81-4-7150-2450

TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!
https://www.tanax.co.jp



MFK-1001

KS1627052